

建築設備工事業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	自社作業場において、運転手が4tダンプで碎石搬入をする作業の補助をする際、ダンプのあおり部分を上げる指示を誤って下げてしまい、あおり部分に左手中指薬指が挟まり、粉碎骨折した。	54	1~9
3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	32	30~49
4	9~10	資材置場改修工事にて足場用単管資材を移設整理中、4m単管を3tトラックに積み込みロープを掛け荷台から降りる際に足を滑らせ落下した。その際に頭部を打ち、外傷性くも膜下出血であると分かった。	54	1~9
5	12~13	被災者は、産業廃棄物保管施設において残土の運搬作業中に、トラック（最大積重量2t）の右後輪と地面との間に挟まれて倒れているところを発見された。	73	1~9
7	10~11	浄化槽搬入時、つり込み作業をしている際、荷台から降りた時、バランスを崩し着地となった。その時、膝をひねり、激痛がはしり、翌日検査をしたところ、手術が必要と診断になり、入院となる。	48	10~29
7	18~19	帰社後、会社資材置き場にて積み降ろし作業をしていた際、ダンプ車後方の扉が外れ、左足に直撃し、骨折した。	24	1~9
10	17~18	現場を終え、ダンプカーにユンボを乗せ帰社している道中、ゆるく左に曲がる道を走行していた際、重心が傾き右側に横転したもの。その際、右手掌及びひじをすり	26	1~

		むいたもの。第3者や同乗者は無し。		9
12	11~12	会社の置場で資材の積み込み時に、2tダンプのあおりを外しているとき、誤って自分の左足に落ちた。	35	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html